

2023年9月4日

各位

会社名株式会社メタリアル
代表者名代表取締役五石 順一
(コード番号：6182)
問合せ先取締役 荒川 健人
グループ管理本部長
(TEL. 03-6685-9570)

**連結子会社株式会社ロゼッタにおける
「AWS LLM 開発支援プログラム」参加者としての採択に関するお知らせ**

株式会社メタリアル（本社：東京都千代田区、代表取締役：五石 順一）子会社の株式会社ロゼッタ（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡邊 麻呂）は、LLM（大規模言語モデル）を開発する日本国内の企業・団体のサポートを目的とした、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（本社：東京都品川区、代表執行役員社長：長崎 忠雄 以下、AWS ジャパン）の「AWS LLM 開発支援プログラム」参加者として採択されましたのでお知らせします。

記

1. 「AWS LLM 開発支援プログラム」並びに同プログラム採択エントリーを行ったロゼッタの目的

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は、世界で最も広く採用されているクラウドサービスとして、コンピューティング、データベース、人工知能、セキュリティ、VR、アプリ開発など 200 以上のサービスを提供し、スタートアップ、大企業、政府機関を含む数百万人以上のユーザーに利用されています。

AWS では、これまでも生成系 AI に関連した様々なサービスや支援プログラムを提供しており、セキュアで費用対効果の高い生成系 AI アプリケーションの構築に活用されてきました。一方、LLM の開発には AI の専門知識を必要とするなど様々な課題があることから、AWS ジャパンは「AWS LLM 開発支援プログラム」を通じて、日本国内の企業や団体に対して計算機リソース確保や技術支援、AWS クレジットの提供といったビジネス支援を実施しています。

AWS について：<https://aws.amazon.com/>

支援プログラムについて：<https://aws.amazon.com/jp/local/llm-development-support-program/>

本件「AWS LLM 開発支援プログラム」採択に至る経緯として、ロゼッタ社として生成系 AI 事業の加速・拡大を図る手法を広範に調査・検討を行った結果、すでに企業インフラとして現代社会に深く根ざし、大きな信頼を得ている AWS ジャパン主催の「AWS LLM 開発支援プログラム」に採択されることは事業加速・開発効率化の観点からも非常に有意なものであると判断

し、エントリーを致しました。その後、「Metareal AI LLM-7B」(7月18日公表「子会社における新たな商品及びサービス(日本語大規模言語モデル「Metareal AI LLM-7B」及び関連する受託開発等)の企業化に関するお知らせ」参照)をはじめとしたロゼッタ社における生成系AI・LLMへの取り組みを含めて審査いただいた結果、同プログラムに採択される運びとなりました。

本プログラムに採択されたことにより、株式会社ロゼッタとしては、「Metareal AI LLM-7B」を含む「Metareal AI」プロジェクトのブランディング、開発活動効率化、ユースケース・ニーズに応じたLLMの開発等、営業開発双方を含む事業活動全般での相乗効果を見込んでおります。

2. 「AWS LLM 開発支援プログラム」の内容

「AWS LLM 開発支援プログラム」からは、LLMを開発する企業・団体の状況に応じて、主に以下のサポートを受けることが可能となります。なお、ロゼッタは下記①~④いずれのサービスをどの程度享受可能かについては今後のプログラム進行によって決定されていきます。

- ① 計算機リソースの選定及び確保に向けたガイダンスの提供
GPU やカスタムシリコン (AWS Trainium) を搭載した Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) インスタンスなど、適切な計算機リソースの選定及び確保に向けたガイダンス
- ② AWS 上で事前学習を実施する際の、クラスター管理や分散学習のパフォーマンスチューニングなどの技術的な支援
- ③ AWS 上での LLM の事前学習に活用できるクレジットの提供 (事前学習にかかる計算機リソースのコストを一部負担)
- ④ Amazon SageMaker JumpStart や AWS Marketplace への掲載を含めたビジネス支援

3. 株式会社ロゼッタの概要

(1) 商号	株式会社ロゼッタ
(2) 本店所在地	東京都千代田区神田神保町 3-7-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 渡邊 麻呂
(4) 主な事業内容	超高精度 AI 自動翻訳の開発・運営
(5) 資本金の額	50,000,000 円
(6) 事業セグメント	MT 事業セグメント

4. 日程

AWS LLM 開発支援プログラムへの採択並びに開始：2023 年 9 月 4 日

5. 今後の見通し

本件プログラムには「2. 「AWS LLM 開発支援プログラム」の内容」に記載の通り多様な内容が含まれており、「1. 「AWS LLM 開発支援プログラム」並びに同プログラム採択を通したロゼッタの目的」に記載の通り複合的なシナジー効果が含まれております。なお、開発支援プログラムのうちいずれの項目についてどの程度の支援を受けることができるかは未確定でございます。

- ・大きな知名度・信頼を有する AWS のプログラムに採択されたことによるロゼッタの信用力向上（ブランディング向上）に伴う既存の生成系 AI 事業における営業活動の促進効果（受注・売上の増加効果）
- ・ Amazon SageMaker JumpStart や AWS Marketplace への掲載等による広告宣伝・マーケティング活動の効率化（受注・売上の増加効果）
- ・ 計算機リソースの選定及び確保並びに事前学習実施における技術支援を介した開発環境拡充並びに開発効率化（利益率・原価率の改善効果）
- ・ AWS 上での LLM の事前学習に活用できるクレジットの提供による開発即時性向上（利益率・原価率の改善効果）

上記の複合的なシナジー効果を踏まえた数値影響算定はその影響範囲が非常に広範であること並びに言語モデル含む生成系 AI 分野市場動向変化の速度に鑑みて、現段階での見込の詳細算定は困難かつ、未確定です。

本日時点におけるプログラム採択単体のブランディング効果のみに着目した場合の 2024 年 2 月期下期における影響額は後述の数値基準に照らして軽微であることを見込んでおります。

ただし、翌期以降「2. 「AWS LLM 開発支援プログラム」の内容」に記載した今後のサポート内容により、上記の複合的なシナジー効果が早期に実現した場合、売上高・営業利益への影響が直前連結会計年度の売上高の 100 分の 10（429 百万円）及び直前連結会計年度の営業利益の 100 分の 30（154 百万円）に至る可能性がございます。

以 上

(参考)

当期連結業績予想 (2023 年 4 月 14 日公表分) 及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2024 年 2 月期)	4,589	611	未定	未定
前期連結実績 (2023 年 2 月期)	4,292	515	516	29

MT 事業セグメント (単位: 百万円)

	売上高	営業利益
当期業績予想 (2024 年 2 月期)	3,152	599
前期実績 (2023 年 2 月期)	2,911	630

HT 事業セグメント (単位: 百万円)

	売上高	営業利益
当期業績予想 (2024 年 2 月期)	1,416	254
前期実績 (2023 年 2 月期)	1,370	267

メタバース事業セグメント (単位: 百万円)

	売上高	営業利益
当期業績予想 (2024 年 2 月期)	20	△280
前期実績 (2023 年 2 月期)	10	△425

その他本社費等

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
当期業績予想 (2024年2月期)	-	36
前期実績 (2023年2月期)	-	42